

2019年8月9日

公益財団法人 損保ジャパン日本興亜環境財団

2019年度環境分野の博士号取得支援「学術研究助成」助成先の決定

公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団（理事長：二宮雅也、以下「損保ジャパン日本興亜環境財団」は、国内の大学院博士課程に所属する研究者を対象とした「学術研究助成」制度の2019年度助成先5件を決定しました。

1. 学術研究助成の概要

弊財団の学術研究助成制度は、環境をテーマとする意欲に満ちた優秀な若手研究者を支援し、「総合学としての環境学」の確立に寄与することを目指して、2001年からスタートしています。国内の大学院博士課程に在籍する35歳以下の研究者の環境分野の研究を対象としており、2018年度までに合計87名の方に助成を行っています。

(助成実績) https://www.sjnkef.org/academic/academic_kako.html

2. 2019年度助成先（助成金額1件あたり30万円限度）

申請者	所属大学院名	研究テーマ
呂 冠宇	早稲田大学 経済学研究科	Has FDI Expanded Environmental Pollution in China?
豆野 皓太	北海道大学大学院 農学院 農学専攻	ナッジに基づいた生物多様性保全アプローチの効果検証
加反 真帆	京都大学 アジア・アフリカ地域研究研究科 東南アジア地域研究専攻	インドネシア大規模泥炭火災地域における住民の生存戦略 —持続的泥炭管理の蹉跎を超えて—
神田 和可子	聖心女子大学大学院 文学研究科 人間科学専攻	「ESDの変容的学習における情動的な学び—初等中等教育における気候変動に焦点を当てて—」
芳賀 智宏	大阪大学大学院 工学研究科 環境・エネルギー工学専攻	人口減少期の社会・生態システムにおける生態系管理の政策介入を対象とした包括的シナリオ分析

3. その他

制度の詳細につきましては、損保ジャパン日本興亜環境財団の公式ウェブサイトをご参照ください。 <https://www.sjnkef.org/academic/academic.html>

以上